

「第6次知立市総合計画」第3回総合計画審議会議事録

平成26年8月21日(木)

15:00~17:00

中央公民館 中会議室

【次第】

1. 基本計画について
2. その他

【出席者】(敬称略・順不同)

《委員》鈴木誠、鈴木恭子、保田了一、土田美紀子、野村賢孝、關勝、新美文二、若松勲、毛受直子、本田由美子、小橋和昭、柿原健、宇納一公、石原國彦  
《市役所》副市長、企画部長、企画政策課長 他  
《コンサルタント》一般社団法人 地域問題研究所 2名

【議事概要】

司会進行：企画部長

司会より

- ・ 審議会委員14名全員出席
- ・ 会議は公開、議事録も公開
- ・ 傍聴者ない

の旨を報告

1. 基本計画について

鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 第3回審議会を始めます。次第などはお送りされていると思うので、それに基づいて進めます。</li><li>・ 5時には終了してまとめにしたいと思います。</li><li>・ 基本計画について、事務局から説明をお願いします。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本日机の上に配布している資料については、前回の審議会の議事録と、審議会以降に頂いたご意見をまとめた資料をお送りしました。</li><li>・ 「市からの回答」については、前回の審議会でお答えさせていただいたものについては記入しておりますが、それ以外については今日の意見への対応も含めて、次回ご回答させていただきます。</li></ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 2回資料が配布されましたが、お持ちでない資料があれば教えてください。</li><li>・ 本日の審議をさっそく始めたいと思います。前回同様、グループに分かれて審議を進めます。Aグループは新美文二委員、B</li></ul>

	<p>グループは鈴木恭子委員お願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん審議事項があります。適宜グループごとに休憩をとってください。また、今日中に終わらなければ、計画書に赤を入れていただいたり、意見シートに記入して、メールやFAXでお送りいただきたいと思います。</li> <li>・次回、各グループの意見などを取りまとめて、事務局で対応させていただきます。</li> </ul>
--	--

## 《Aグループ》

新美文二委員（グループ長）、鈴木誠委員、保田了一委員、野村賢孝委員、毛受直子委員、小橋和昭委員、宇納一公委員

## ■第1章 人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

### 1-1-1. 防災・危機管理

小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（1）に「防災教育」という一言を入れていただきたいと思います。</li> <li>・防災シンポジウムなどがありますが、出席者は高齢者が多く若いお父さんお母さんはあまり参加されていません。岐阜県の関市では小学校で心肺蘇生の授業を行い、子どもたちに人形を持ち帰らせて、保護者に伝えることを宿題にしているようです。</li> <li>・小学校の高学年の特別教室の時間やいのちを大切にする教育の中で、防災・減災について市の考えや防災に関する知識などを伝えて、保護者や祖父母等に伝えてもらうような教育をしてはどうかと思います。</li> <li>・知立市は市民の方も、防災リーダーをはじめとして積極的に防災に取り組んでいると思います。</li> <li>・災害時には、けが人の方を一カ所に集めて救急車に乗る優先順位を医師が決めるトリアージを行うのですが、名古屋市ではそのお手伝いを市民がしているようです。</li> <li>・防災対策にもいろいろな視点があるので、「防災教育」という言葉を入れてほしいと思います。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それは学校で防災教育を行うということですか。</li> </ul>
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうです。若いお父さんお母さんに届くように特に小学校での教育で行うということです。</li> </ul>
保田了一委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の6つめの「・橋梁に関しては、主要な・・・必要があります。」とありますが、橋梁などはすべて終わっていると聞いた気がしますどうですか。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設や避難施設の耐震化は終わっています。ただ、文科省</li> </ul>

	<p>の方から、体育館の電灯の転落防止や吊天井の落下防止などに対応するように言われています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設建物の耐震化はほぼ終わっていますが、橋梁については、現在調査をしており、今後順番に行っていく予定です。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「防災教育」の話については、後ほど「学校教育」の施策も出てくると思いますが、施策（3）の中に、「学校教育の中でも」と盛り込んではどうでしょうか。</li> </ul>

### 1-1-2. 地域の安全

野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校では、不審者情報を登録されている方にSNSで配信する取り組みが行われています。しかし、基本計画には、観光情報の発信では「SNSの活用」が挙げられていますが、ここには記載されていません。お金のかかることではないのでここにも記載していただきたいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな分野に言えることかもしれませんが、ここにも入れてください。</li> </ul>

### 1-2-1. 地域福祉

保田了一委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「災害時要配慮者」という言葉があるが、それ以上に受有用な「災害時要援護者」についての記載がありません。「地域で探さないといけない」というようなことが書いてありますが、「災害時要配慮者の支援」とはどのようなことでしょうか。聞いたことがありません。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそもこの言葉自体がないかもしれません。</li> <li>・現状と課題の1つめの「・少子化と核家族化、世帯規模の縮小が」とありますが、核家族化＝世帯規模の縮小だと思います。ここは「少子化と核家族化、生活様式の多様化と個人主義の広がりによって・・・」のように文章を変えてはどうでしょうか。</li> </ul>

### 1-2-2. 障がい者福祉

宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の5つめの「障がい者の高齢化が進んでいるとともに、・・・深刻となっています。本市では、・・・とともに、虐待防止については・・・取り組んでいます。」となっていますが、虐待防止と成年後見センターの話は別の話だと思うので、虐待防止はまた別の・で起こした方がよいと思います。</li> </ul>
--------	---

### 1-2-3. 生活自立支援

小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生活自立支援」の現状と課題について、全国的な現状や課題ばかりで、知立市ならではの現状と課題が薄いように思います。本当に知立市の現状に即した施策を考えているのかと感じてしまいます。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート調査でも、知立市は人口比率から見ても生活保護受給者が多いと出ていた気がします。</li> <li>・「知立市はどうか」ということとその要因を明記したうえで、対策を考えていく必要があると思います。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状データについても、知立市の実態がわかるようなグラフにしたいと思います。</li> <li>・生活保護受給者の中でも、高齢者や障がい者世帯ではなく、健康で働ける方の生活保護受給者が多くなっています。その雇用支援や就労支援をして生活保護から脱却してもらうように支援することが大切な施策だと思っています。</li> <li>・現状と課題やその施策の中に、その実態と現状がわかるようにしたらよいと思います。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・0.9%というは何世帯ぐらいでしょうか。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・400世帯ぐらいです。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護世帯数と自立した世帯数を合わせて表示するとよいと思います。</li> </ul>
毛受直子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護費は金額的にはいくらぐらいになりますか。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「知立の現状に関する統計とデータ」のP15に、「保護世帯の状況」があります。この中の「その他世帯」は就労支援がうまくいけば自立して生活を送れる世帯が多い分類になりますので、そこを市としてどのように支援するかということだと思いません。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の2つめ「・本市においても、2014年4月現在・・・受給しています。」は表現がおかしいので、純粋に「2014年4月現在〇〇世帯が生活保護世帯となっています。」と記載した方がよいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間とも協力し合って取り組まないといけない地域ぐるみの問題もあります。</li> <li>・対応策が甘いと思います。就労支援の充実も民間と協力していかないと難しいのではないのでしょうか。</li> <li>・地域社会とのかかわりづくりも重要な問題だと思っています。生活困窮は犯罪など治安の問題とも関連があるため、きちんと取り組まないといけないと思います。</li> </ul>

### 1-3-1. 高齢者福祉・介護

小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題について、知立市は他市に比べて高齢化率が低いと思います。高齢者の施策についてこのまま推進してほしいところもありますが、最近の65歳ぐらいの方は「まだ高齢者じゃない」という若い人が多いと思います。</li> <li>・できる限り介護を受けずに“びんびんころり”となってほしいと思いますので、要介護になったから支援するのではなく、その前の段階、要支援やその前の段階から支援する、生きがいくくりやスポーツなどの取り組みも考えてほしいと思います。他市町は取り組んでいます。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題に高齢化率の変化が「16.2%が18.3%になった」と記載されていますが、これには意味がないと思います。国勢調査等を用いて、2005年から2000年などの少し長いスパンの中で、高齢化が顕著に進んだ時期を取り上げて記載してもらえると良いと思います。工夫してください。</li> <li>・先ほどの、要介護の前の高齢者の生きがい・健康づくりについては、施策(5)の中に記載すると良いと思います。「とともに、生涯学習・健康・スポーツに関する講座などを充実します。」としてはどうかと思います。</li> </ul>

### 1-3-2. 地域医療・健康保険

毛受直子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題、4つめの・に「精神障害者医療分」とありますが、これはうつ病などの増加ということでよいでしょうか。</li> <li>・小学生くらいからでも心を病んでいる子どもが多く、高校生も多いと聞きます。そのような病気の受診者が増えてきたということでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それでよいです。</li> </ul>
新美委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の5つめの・に「衣浦定住自立圏」という言葉がありますが、碧海5市という考え方もある中で安城市の厚生病院に行っている人も多いが、定住自立圏の考え方がしっくりいきません。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前は広域行政圏構想の中で「衣浦東部広域行政圏」で広域行政を進めていこうとしていました。今、国の制度はそれに代わるものとして「定住自立圏」という考えで進めています。昼夜間人口などの条件をもとに、この周辺では刈谷市を中心にした広域行政を進めていこうとしています。知立市もそこに参加しています。</li> <li>・ただ、今も衣浦広域行政圏という考え方は残しています。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域医療ネットワークシステムを運用して、刈谷豊田総合病院を使いやすくしています。</li> <li>・もし今後安城市を中心とした定住自立圏が形成される場合は、周辺都市がそこに参加するかどうかということになります。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、定住自立圏を形成して計画をつくった場合、そこに掲載されている事業に対して財政支援をしています。この地域医療ネットワークシステムも、国の制度に乗っかることによって刈谷豊田総合病院を中心にしたネットワークを結ぶことができます。</li> </ul>
小橋委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安城市厚生病院や刈谷豊田総合病院もあまり変わらないと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はまずかかりつけ医等を通さないと直接刈谷豊田総合病院に行くことはできません。</li> <li>・知立市の町医者や刈谷豊田総合病院はオンラインを通して情報が共有されています。これまでは紹介してもらうために3,000円程度かかっていましたが、それがかからなくなります。医療費の削減にもなるということです。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市民としてそのような状況はわかりづらく、碧海五市のつながりについてはイメージがあると思いますが、定住自立圏について知っている人は少ないと思います。実態のネットワークと違う気がします。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定住自立圏については、平成の大合併が過ぎて、国が今後の広域行政の姿と示してきたものだと思います。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のご意見は、医療に関する市民の生活圏と行政権がミスマッチをしているということだと思います。行政が医療分野で自立圏を作り紹介するのは良いと思いますが、「市民は医療生活圏を持っているため、その実態についても把握して対応していきますよ。」というロジックを実態を踏まえて書いてほしいということだと思います。</li> <li>・行政が取り組んでいることだけを記載しても市民はぴんと来ないということだと思います。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市民はいろいろな病院を利用していると思います。「たまたま新しいシステムを使ってやっている」ということです。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の仕方などを考えてください。</li> </ul>

### 1-3-3. 保健・健康づくり

鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（3）のタイトルに「社会で支える健康づくり活動」とありますが「健康づくり」でよいのではないかと思います。</li> </ul>
--------	---

#### 1-4-1. 循環型社会・エコライフ

意見なし

#### 1-4-2. 環境保全・公害防止

宇納委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・現状と課題の3つめの「環境の保全及び創造について・・・」の「創造」とは何を指しているのでしょうか。第6次総合計画の中で新たなものをつくられるのでしょうか。</li><li>・7つめの「日用品など」とはどのようなものなのでしょうか。どのようなものか例示してもらえると市民の方の意識が変わるかもしれません。たとえば、自転車やオートバイ、バッテリー、オイルなどの内訳がわかるとよいと思います。</li></ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・次回ご回答させていただきます。</li></ul>

### ■第2章 人々が集う交流のまち

#### 第1節 住みたい人が集まるまちづくり

##### 2-1-1. 住宅・住宅地

##### 2-1-2. 道路

宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・節のタイトルの「住みたい人が集まるまち」とはどのような意味でしょうか。</li><li>・例えば、住みたいするには快適な住環境や交通の利便性などを求めていると思います。「住みたいまちづくり」などにしたほうがよいのではないのでしょうか。</li><li>・第5次総合計画のように市民にとってわかりやすい標語にしてもらえるとよいと思います。</li></ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・これは少しおかしな表現だと思います。</li><li>・現状と課題の4つめの「住宅・住宅の質の向上とともに、防災性向上の・・・」という表現は「住宅地の質が悪い」と言われている気がして気持ち良い表現ではありません。</li></ul>
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・住宅地の質が悪い場所はたくさんあります。私はこれは明確でよいと思います。</li></ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・「これらを改善するために、防災性向上の観点からも・・・どうするか」という流れにした方がよいと思います。</li><li>・「建て詰まり」という表現もおかしいと思います。</li></ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・「老朽化した住宅が密集し」でどうでしょうか。道路が狭く消防車が入れないところもあります。</li><li>・「防災性向上」という言い回しはしないのではないかと思います。</li></ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本語がところどころおかしいので修正してほしいと思います。</li></ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「これらの市街地の」、「これらの」もいないかもしれません。</li> <li>・文章的なものは確認します。</li> </ul>
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（２）の「空き家の市場への流通による活用促進」とはどのようなことでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家はあるのですが、不動産屋などの市場には流通していないため、これを促進するように進めるという意味です。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流通させることよりも、不審者が入ると防犯上よくないので早く壊すよう促すなど、空き家をどのようにしていくのかという対策をしっかりと記載してもらえると良いと思います。流通させたらすむという問題ではないと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある市が、空き家を改修して若い世帯に住んでもらえるようにしています。そのような意味合いもあると思います。</li> </ul>
鈴木誠委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の空き家対策は、山間地の市町村や地域で取り組んでいますが、ここは防災・防犯という観点で空き家の整備を進めたほうがよいと思います。知立市は、空き家を整備して人に住んでもらうという事に積極的に取り組んでいく状況ではないと思います。</li> <li>・全体的によくわからない言葉が多いです。例えば、施策（３）の「予防保全型」とは何でしょうか。わかりやすい言葉に変えた方がよいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般の市民にわかりやすいようにしてほしいと思います。</li> <li>・住宅については、知立市は土地が少なくてマンションを整備すればすぐに売れてしまうところです。その中でこの取り組みはおかしいかと思います。</li> </ul>
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの「空き家の市場の流通・・・」について、例えば弘法通などは、空き家を持っている方に、売却しないのであれば店舗を安く貸してくれないかとお願いしています。そして、10～15坪のスペースを月に1万円等の安価で間借りをする人を集めて、1軒の店舗を埋めます。そのような店舗を増やすことで商店街を形成するイメージです。</li> <li>・これを行政が支援するという事であれば大事なことだと思います。定期借家権の法律等も整備されて、1年間だけ借りたりすることができます。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどから、行政がやることばかり書かれていますが、もう少し、「民間を活用して解決していきます」という方が具体性があると思います。そのほかの、介護等の問題にしても民間にも専門機関があります。どの施策にしても行政だけではなくて、民間を活用してやっていかないといけないと思いますが、行政側</li> </ul>



	にバリケードのようなものがあると思います。
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商店街を形成する意味で、空いているところに新しい人が入るように市が支援するのは活性化に寄与すると思います。</li> <li>・三河知立駅の移設の話が全く書かれていません。都市計画決定の所でも区画整理の所でも一切触れられていないのが不思議です。</li> <li>・知立市には古い市街があり、狭い道路がたくさんあります。例えば、山屋敷町は細い道路がたくさんあり、大きい地震が来て火事が起こったら終わりです。狭い道路等をどうしていくかは書かれていませんが対応が必要だと思います。</li> <li>・山屋敷町は新しい住民が多いのでスラム化していませんが、20年後はスラム化します。知立団地は敷地面積が広いので良いのですが、最近の一つの宅地を3つぐらいに切って住宅を建てる傾向にあるので都市計画上問題だと思います。</li> <li>・狭い道路の住宅のセットバックについても、セットバックした後勝手にブロック塀を建てる人がいます。これは持ち主の善意に頼ってはできませんので、住宅地の中で、区画整理を進めていくことをしなければいけないと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4m未満の道路の場合、道路の真ん中から2mは何も作ってはいけないということになっていますが、みんな作っています。それを勧告する姿勢を示さないといけません。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭隘道路の話については、次の「2-1-2. 道路」の現状と課題の6つめの・に記載しています。住宅地の分筆についてもお金がかかるということで、「狭隘部分の道路の寄付を進めていかないといけない」と記載しています。</li> <li>・三河知立駅の移設については、現状入っていません。難しい話ですが、担当課ともどこかに記載しようという話になっています。</li> <li>・駅が来るだけではなく、周辺道路の整備なども関連するため、記載する箇所を検討します。</li> </ul>
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今すぐに移設するという事ではないですが、10年後を見据えて三河知立駅の移設について記載しておく必要があると思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次総合計画の時にも検討して決定してきたことですから、これは記載しておくべきだと思います。計画が何の意味をもつのかということになっています。また、掲載しておかないと将来の展望が描けないのではないかと思います。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今のお話について、知立市は非常にいい街だと思いますが住み</li> </ul>

	<p>にくい部分もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しかし、今回の広島の土砂災害があった住宅地のように、細い道路の危険性の話や地盤が弱いことを広く伝えると、人が来ないから伏せておくというのは問題だと思います。</li> <li>・市民に認識してもらわないといけないですし、そうしないと対応してもらえないと思います。全市の中で抱えている課題をきちんと示していただいた方が住む側も安心できると思います。</li> </ul>
--	---

### 2-1-3. 公園・緑地

意見なし

### 2-1-4. 上水道・下水道

意見なし

## 第2節 訪れたい人が集まるまちづくり

### 2-2-1. 知立駅周辺整備

新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハード整備事業として実施するわけですが、商店街や道路が大きく変わるに伴って、行政区が大きく変わります。しかし、そのことは一切記載されていません。</li> <li>・商店街も5つぐらいありますが、商工会の提言の中で合併の話をお願いしていますが、そのようなことを含めたソフト面のことをサポートしていただきたいと思います。</li> <li>・再開発区域内に工場があります。せっかく再開発するにもかかわらず、土地利用がうまくないと思います。他市をみると、非常にうまく土地利用しています。</li> <li>・今の再開発事業はお金のかかる話ばかりで儲ける話がありません。どこでお金を生むのか。うまく土地利用をして工場用地を確保したり、再開発の中で不動産価値の高いものを作ったりという施策をしていかないと、夕張市のようになってしまいます。</li> <li>・アンケート調査結果を見ても、駅周辺整備などは満足度が低くなっています。このような結果が出ているにもかかわらず1枚程度の計画で良いのかと思います。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の再開発に関して、公開空地法を導入して市民が使える空間にするなどということを考えられているのでしょうか。公開空地を作ると容積や高さを緩和することができます。名古屋市では伏見や笹島でやられています。</li> <li>・条例などで考えられているならお聞きしたいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地権者と一緒にゾーニングを検討し、住宅を固めたり、駅前の</li> </ul>

	商業地は容積率を高める等、住み分けを決めています。
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゾーニングはしていると思いますが、ビル間を通路として活用するための土地を提供していただいたり、カフェテラスを設置できるような場所を確保するような予定はあるのでしょうか。情報があれば教えてほしいです。</li> </ul>
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（3）の「都市計画に基づく・・・誘導します。」などは、建蔽率や容積率を変えていく予定でしょうか。知立駅の再開発地区周辺、特に北側に2階建ての個人住宅がたくさん建っている地域があるのは土地の無駄づかいです。</li> <li>・例えば、駅周辺の土地は公共用地ですから、容積率を上げて、周辺の住民が集まってマンションを建てる施策を考えればよいと思います。「みんなでまとまった方がメリットがありますよ」という誘導を行っていくということもこの文章に含まれているのでしょうか。</li> <li>・放っておくと、商業地にも関わらず、よくわからないビルがたくさん建って、日照権の問題がある住宅が建って、よくない環境になります。容積率を高めて、誘導していく事が必要だと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前の再開発はその方法で進めてきました。住宅の方がよい人はそのゾーンに集めて、お店のほうは商業地に集積をしています。その方向性で進めていくという意味で書かれています。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早くしないと建物が建ってからでは遅いです。こういう方針をはっきりさせていくことが大事です。</li> <li>・知立駅ビルは20階建ての予定ですが、容積率をあげれば30階建てられます。そうすれば固定資産税などが増え行政が儲けられます。そのようなことも考えないといけないと思います。</li> </ul>
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（4）「市民主体の様々なまちづくり活動を促進し・・・」とあるが、宇納委員がおっしゃるように、市民からの空間活用アイデアが出された時にそのように活用できるのでしょうか。計画書を読んだ時に、市民が「やってみよう！」と思える内容にしないと、市民の税金を使う事業にもかかわらず、物足りないと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立駅周辺の開発については、市長も100年に一度の事業と言っているにもかかわらず計画のシートが1枚しかないがそれで良いのでしょうか。これまでの意見や容積率の話などを踏まえて検討してください。</li> </ul>
宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この節の名称についても、「訪れたい人が集まる」ではなく、「訪れたい人になるまちづくり」とするなど、魅力のある言葉に変えて</li> </ul>

	いただけないでしょうか。
新美文二委員	・「なぜ住みたくなるか、訪れたくなるか」そこが抜けていると思います。

## 2-2-2. 公共交通

新美文二委員	・三河線の複線化の課題も検討していくことがあるとよいと思います。リニアの説明会に参加しましたが、名古屋が東京から30分圏内になると、三河線の複線化が必要だと思います。知立市は鉄道高架事業の中で、そのようなものを視野に入れた夢のあるまちを視野に入れて考える必要があるのではないかと思います。
--------	--

## 2-2-3. シティプロモーション・観光

野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策(2)「八橋かきつばた園」の話があるが、今はいらっしゃった方が、「八橋はこんなに小さいところなの？」とがっかりされています。訪れたくなって来てみても、がっかりして帰っていくのでは意味がありません。「計画的整備・・・」とはどのような意味でしょうか。</li> <li>・花が毎年毎年駄目になるため、土が見えている状態です。地元で任せるのは良いのですが、このように記載するのであれば、プロを入れて、花で土が見えないようにしてほしいと思います。計画的整備とはそこまで踏み込んだ内容であってほしいです。</li> </ul>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かきつばた園については、咲き具合などにご意見があり問題意識はあります。専門家の方にもお願いし、原因を詰めて、今後に対応したいと思います。</li> <li>・今の無料の庭園を拡大するという意味ではないですが、十数個ある池が水漏れしたりしていますので、調査をして結果に基づいて必要なことをしていきたいと思います。</li> <li>・かきつばたの排水設備も独自のものが必要ではないかという意見もありますので、そのような整備です。今よりも規模を大きくすることは入っていません。</li> </ul>
野村賢孝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八橋文化広場があります。かきつばた園と文化広場との間に農地がたくさんあります。例えば、そこを市が購入して整備していくことなどもできるのではないかと思います。</li> <li>・今のままでは県外から来た人ががっかりして帰っていきます。整備できるかどうかは難しいと思いますが、拡大していくという方向性を考えてもらえるとありがたいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	・花がダメになってしまうようであれば、かきつばた園と同じ株

	<p>数のかきつばたを別の場所に育てて、植え替えられるように対応することも必要だと思います。</p>
副市長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規模を大きくするのではなくて、かきつばたを栽培して、病気などに対応するなどとは考えていけないと思います。</li> <li>・今のご提案は内部で、拡充の方向性なども検討したいと思います。</li> </ul>
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カキツバタ保存会の方が古くから株を大切に育ててこられました。しかし、保存会が高齢化しています。そろそろほかの方のアドバイスも聞きながら、その技術を次の方に受け継いでいく必要があります。</li> <li>・これまでの努力はすごいとしても、これからの方向性を検討していただきたいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会が施策（２）の中に記載されていますが、商工会はもう少し産業誘致や再開発事業等に寄与する団体ですので、もう少し大きな事業の中での協力の仕方が記載していただきたいとお思います。</li> </ul>

#### 2-2-4. 産業振興・雇用対策

新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5次総合計画には「産業誘致の活動の推進」というのがあります。同様の内容について施策（１）に書かれていますが、後退的なイメージが強いです。</li> <li>・再開発事業で230億円の借金を抱える中で、工業誘致も積極的に行っていないと、甘いことを言っていて大丈夫かと思ってしまいます。</li> <li>・商業工業の部門で現状と課題に対しての対応策・戦略をしっかりと書いていただきたいと思います。夕張市のようになるのではないかと心配しています。</li> </ul>
--------	---

### ■第3章 時代を担う子どもを豊かに育むまち

#### 3-1. 子どもの健康づくり

意見なし

#### 3-2. 子育て支援

意見なし

#### 3-3. 子どもの学び環境・学校教育

宇納一公委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策がめざす将来の姿について、「・・・確かな学力の向上により、地域を愛する心と生きる力を育みます」の方が良いと思</li> </ul>
--------	---

	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（１）、「・・・教育の専門的な“能力”」ではなく、「資質」に変えていただきたいと思います。</li> <li>・施策（３）の中に、「情報モラル教育の推進」「インターネットメディア学習」「有害環境浄化対策」「薬物乱用防止」などの視点が必要なのではないのでしょうか。</li> <li>・思い思いの場所で時間を過ごせる「小学校、中学校、高校生のためのコミュニティスペースの充実」が必要なのではないのでしょうか。パティオ知立が開放されているのが非常によいと思います。神戸にあるユースプラザなどが参考になると思います。</li> <li>・「健康教育の推進」の視点も大切ではないのでしょうか。若年での妊娠中絶の話があります。特に性教育など、性と生について、思春期のヘルスケアなどの教育が必要ではないのでしょうか。</li> </ul>
小橋和昭委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策（３）の１つめ・「子どもの・・・」とあるが、110番の家が開かないことがあったり、旗が汚くなっているところもあると聞いています。そのようなことも含めて内容の充実をしてほしいと思います。</li> <li>・文面に書いて継続していけばよいということではなく、現状を見て充実していく対応をお願いしたいと思います。</li> </ul>
新美文二委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ちょうど時間となりましたので、これ以降はおのおので意見シートを出していただきたいと思います。</li> </ul>

## 《Bグループ》

鈴木恭子委員（グループ長）、土田美紀子委員、關勝委員、若松勲委員、本田由美子委員、柿原健委員、石原國彦委員

鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は、時間を区切りながら議論を進めて欲しいと思います。</li> <li>・前は、学校と地域の問題等も多く意見が出されたので、第3章の所で議論していきたいです。</li> </ul>
土田美紀子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回は意見を言ったが、「ひとりひとり」の漢字の使い方などの表記がバラバラなので、統一して欲しいです。</li> <li>・「取り組む」「取組」の送り仮名についても表記がバラバラなので、統一して欲しいです。</li> </ul>

## ■第1章 人と環境にやさしく、健康で安心して暮らせるまちづくり

### 1-1-1. 防災・危機管理

石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフを震源とする巨大地震はよいと思うが、知立市における震度の想定、その場合の被害想定の見直しは必要ではないのでしょうか。</li> </ul>
--------	--

	<p>か。施策はそれに基づいた対策になっているのでしょうか。震度の想定や被害想定があり、それに対して知立市の現状がどうなっていて、何が不足しているか、だからこの計画でどのような対策が必要かを書くべきだと思います。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別計画である地域防災計画を毎年修正しており、愛知県の被害想定が変わると、それに応じて地域防災計画も見直し、その中で個別の対策を記載しています。その改定の際には、頻繁に変わる災害の想定、被害想定を踏まえながら、細かな施策を記載しています。総合計画でも被害想定を踏まえながら、防災に関する各分野で必要になることを、関係部署が連携しながら記載しています。</li> <li>・被害想定の詳細なデータは、地域防災計画に資料として記載しています。総合計画では大きな視点での課題や取組を書いています。</li> </ul>
石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の内容には、被害想定を踏まえて足りない対策、やらなければならない施策を書かなければいけないと思いますが、この4本で大丈夫なのでしょうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の内容では、被害想定が細かく変わったとしても、取り組むべき大きな方向性を記載しています。被害想定の変更に応じて対策は変わってきます、地域として防災にどのように取り組むか、市としてはどのような体制で行うか、常日頃から何が必要かを書いています。</li> </ul>
關勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災総合委員会では、知立市総合防災訓練を毎年1回開催しています。これは南海トラフ巨大地震が発生し、震度いくつということを想定しながら訓練しています。そういうことをやりながら、知立市としてやるべきことはあるが、地域の自助の部分をしっかりやっけていき、逃げ時を地域で考えられることが大事だと思います。</li> <li>・総合防災訓練については、やり方に問題があると思います。今年も11月30日に実施されますが、巨大地震なのか川の氾濫なのかの想定を示し、そして消防や学校などすべてが総合防災訓練に参加させることが必要です。現在は自主防災が人を集める事しかやっていません。消防・警察・教育委員会がすべて参加して経験値を積んでいく必要があります。</li> <li>・施策の内容に考え方は書いてあり、やろうとしていることはこの言葉でわかるが、具体的に総合訓練の事を考えると現在は機能していないと思います。</li> <li>・7月13日に鯖江市に行って経験してきましたが、そこでは市長</li> </ul>

	<p>が陣頭指揮を執って、婦人会、老人会、消防団、警察も含めて、全てが参加して活動しているのが印象的でした。2500人くらいが参加し、第1次避難所を開設して、隊列を組んで小学生、中学生が参加する、婦人会が炊き出しをするなど、様々な人は役割を持って参加していました。知立ではこのような訓練になっていません。今回の大雨でもそうでしたが、知立では災害ボケになっているのではないかと思います。地域も関係機関も含めてきちんと行動する必要があります。知立は地震と川の氾濫しかない、津波も土石流もないと思うので、2つに絞ってしっかり対策を講じるべきです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市でも防災マップは充実させる必要があります。作成から6年が経過しており改正が必要になっています。地域の自主防災会等でも周知する等の活動をしているが、災害で危険になったら自分で判断して逃げるということを住民にどうやって浸透させていくかが課題です。</li> </ul>
柿原健委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先日に台風が来た時にも、地域メディアである KATCH と市とのやりとりがあったと思いますが、災害時における地域メディアとの連携の強化について基本計画に入れて欲しいと思います。</li> </ul>
鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員の意見は、基本計画に入れて欲しいです。</li> </ul>
石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の中心部付近は密集し、道路がないという状態です。震災の際にはひとりひとりが自分で命を守らなければなりません、建物倒壊、火災が発生した時には大丈夫だろうか、どうしたらよいのだろうかと思います。この辺りも考えて基本計画に書いて欲しいと思います。</li> </ul>
鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知立市の避難所の収容人数の算出には疑問があります。全体の床面積を1人当たりの面積で割っているだけですが、避難所の階数や高齢者の避難、一次避難所と二次避難所とで条件は異なり、丁寧に人数を出さなければいけません。また二次避難所には障がい者が避難してくることになるため、電動車いすなどの機器や備品など、細かい部分の配慮が必要になります。避難計画については見直して欲しいです。</li> </ul>

### 1-1-2. 地域の安全

本田由美子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2.地域の安全」の「施策が目指す将来の姿」に「交通安全を自慢できる」という表現がありますが、違和感があります。交通安全は自慢するようなものでしょうか。</li> <li>・「2.地域の安全」の「施策が目指す将来の姿」に「女性や子どもも安心して暮らせる・・・」とありますが、女性や子どもだけを取</li> </ul>
---------	--



	り上げるのには違和感があります。「誰もが安心して暮らせる…」ではないでしょうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全はランキング等で表現されることも多いことから、このような表現となっています。また、女性や子どもに関わる犯罪が多くなっているということから、これに対応する施策が必要ということでこの表現となっています。</li> </ul>
土田美紀子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>趣旨は分かるが、「女性や子どもも…」ではなく「誰もが…」とした方がよいと思います</li> </ul>
石原國彦委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者もいるので「誰もが…」の方がよいです。</li> </ul>
若松勲委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「交通安全を自慢できる」というのはやはり気になります。</li> <li>「女性や子どもも…」は「誰もが…」の方がよいです。</li> </ul>
柿原健委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性や子ども」をあえて入れるのなら、「誰もが安心して、特に女性や子どもも…」と入れた方がよいと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性や子どもも…」は「誰もが…」とする方向で担当者と協議します。</li> <li>知立市は交通死亡事故ゼロが続いていた時期があったということもありますが、「交通安全を自慢できる」というのは確かに違和感があります。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全に市民が自発的に取り組むということも含めて自慢できるとしてはありますが、違和感があるというご意見は承ります。</li> </ul>
關勝委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>犯罪の件数や交通事故の件数は信用できる数字なのでしょうか。</li> </ul>
鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「女性や子どもも…」「交通安全を自慢できる」の表現は直して欲しいと思います。</li> </ul>

### 1-2-1. 地域福祉

鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区社協について「2014年4月現在、5地区で取組を進めています。」という表現がありますが、知立市での地区社協はこれからという段階であるため、「5地区で設置され、取組が始まっている。」という表現にしてほしいです。また「今後は市全域で進めていきたい。」ということも入れて欲しいです。地区社協は福祉を地域のマンパワーに期待するというお仕着せ的事业であり、この取組が進んでいるのは余裕のある市町村、地区社協の名前を変えて取り組んでいる市町村です。</li> <li>ユニバーサルデザイン重点整備地区については、「高齢者・障がい者のためのユニバーサルデザインを推進する」という表現にして欲しいです。</li> <li>権利擁護と虐待防止、広報だけでよいのか、利用の周知なのか、ひっかかります。</li> </ul>
--------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「年齢、性別、国籍、障がいの有無」は「年齢・性別・国籍の違い、障がいの有無」の表現にすべきです。また「生活利便施設」は分かりやすい言葉にして欲しいです。</li> <li>・「ユニバーサルデザインの啓発・・・」は「ユニバーサルデザインに基づく整備・改善が進むように啓発・・・」に修正すべきです。</li> </ul>
--	--

### 1-2-2. 障がい者福祉

鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「就労を支援する事業所は増加している」とありますが、事業所の設置はほとんど進んでいません。安城養護学校の卒業生も就職先がない状態です。けやき作業所なども努力して受け入れています。定員を超過すると補助金がカットされるという不合理な現実もあり、障がい者は就労に困っています。重度障がい者の子どもの就労は難しいので、この事は書いて欲しいです。</li> <li>・重度障がい者のためのショートステイも知立市にはありません。愛知県は整備が進んでおらず、ワースト2です。県外にまで利用しに行っている現状であり、大きな負担になっています。</li> <li>・成年後見センターの設置とありますが、これは知立市として設置するのか、刈谷市などと共同で設置することを考えているのでしょうか。</li> <li>・障がい者福祉の施策に「自立」という言葉が多く出てきますが、改正された障害者総合支援法から、障がい者の自立より、基本的人権の尊重に重きが置かれていることは承知して欲しいです。また、重度の障がい者は自立はできないので、自立困難者に対する市や地域の支援については書いて欲しいです。</li> <li>・障がい者支援において、特別支援学級の充実、特に肢体不自由児童への対応は急務となっています。</li> </ul>
--------	---

### 1-2-3. 生活自立支援

鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現状と課題」において、生活自立支援が「2015年から施行されている」と書いてありますが、「施行されます」ではないでしょうか。</li> <li>・「学校や職場、近隣」という表現がありますが、「近隣」は「地域」ではないでしょうか。</li> </ul>
--------	--

### 1-3-1. 高齢者福祉・介護

鈴木恭子委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「1. 高齢者福祉・介護」について、要支援に対する費用が2015年からカットされ、介護予防に回されます。現在要支援の人には移行措置はありますが、3年後には切り捨てられることにな</li> </ul>
--------	---

	ります。
柿原健委員	・介護の制度は衰退するということでしょうか。
鈴木恭子委員	・国はお金がないので切ったということだと思います。
關勝委員	・年齢的に、これから元気に予防することなどはできません。
若松勲委員	・介護予防というものはいつからやればよいのでしょうか。
鈴木恭子	・民間の介護付き老人ホームはできてきており、高齢者に対するフォローは障がい者に比べれば充実しています。
若松勲委員	・高齢者は人口が多いので、障がい者に比べれば対応が充実しているということなのではないでしょうか。
石原國彦委員	・知立で大きな高齢者福祉施設は3つありますが、その施設に入りたいという高齢者が待機している状態です。施設に入れない高齢者は家庭で面倒を見るしかありません。予防は大切ですが、高齢者施設が増やせなくても、高齢者の介護を支援する人を充実するという事は入れておくべきではないでしょうか。
鈴木恭子委員	・認知症サポーターの養成については、知立市では講座の開催だけです。講座以外での要請や活用に対する対策が必要です。 ・認知症高齢者の徘徊の早期発見については、近隣ネットワークの構築が大切であり、行政枠を超えた圏域でのネットワーク構築の動きもあります。 ・地域包括ケアの推進については、介護予防の講座などをやっていますが、知立市の考え方として、福祉にお金をかけるのか、まちづくりにお金をかけるのかで、地域包括ケアをどの程度推進するかも変わってくるのではないのでしょうか。
石原國彦委員	・在宅介護支援センターの人材として、介護サポーターになる資格のある人はいますか。サポーターの養成の必要はないのでしょうか。
鈴木恭子委員	・介護のヘルパーの事になるが、ヘルパーは生活の支援はできますが、医療には関係ありません。知立にもヘルパーはたくさんいますが、それでも足りないのが現実です。
石原國彦委員	・ヘルパーを養成して増やすという施策も必要だと思います。
鈴木恭子委員	・国の制度が頻繁に変わり分かりにくいですが、働きかけていきたいです。

### 1-3-2. 地域医療・健康保険

石原國彦委員	・「2. 地域医療・健康保険」に「レセプト点検」「ジェネリック医薬品」という言葉がありますが、意味がわかりません。
鈴木恭子委員	・「レセプト」とは診療報酬明細書の事です。「ジェネリック」とは権利期間が過ぎて価格が安くなった薬です。

柿原健委員	・ジェネリック医薬品は30%程度の普及と聞いています。
柿原健委員	・ジェネリック医薬品の利用促進はよいと思います。
關勝委員	・健康保険証に「ジェネリックを希望します」というシールを貼ってあります。
柿原健委員	・ジェネリック医薬品は、価格が安くなるということだけではなく、品質も改良されて向上するというようなことでもあるようです。

### 1-3-3. 保健・健康づくり

柿原健委員	・食育の現状はどうなっているのでしょうか。
土田美紀子委員	・食育の取組は、知立市では5~6年前から始まっています。
關勝委員	・学芸会の時に食育に関する発表をやっています。食育キャラクターやCD等も出して、子どもたちに人気があるようです。
土田美紀子委員	・知立市の周年事業において、パティオで食育に関する発表しました。
事務局	・健康づくりに関しては、保健センターもPR不足気味です。
關勝委員	・健康づくりの普及については、健康推進員が中心になって、保健センター等で行っています。

### 1-4-1. 循環型社会・エコライフ

柿原健委員	・「エコアクション21」とは何ですか。ISO14001との違いは何ですか。
事務局	・エコアクション21はISOより容易に取得できるように改善した制度です。刈谷市と協働で促進しています。
柿原健委員	・ISOでは省エネ、省資源などの取組を行っているが、エコアクション21の取組の目玉は何ですか。
事務局	・取組みの目玉というよりは、基準を下げて企業が取得しやすくなったものです。大企業であればISOの取得は可能ですが、エコアクションは中小企業でも取得しやすくなったものであり、全国的な取組です。
關勝委員	・現状と課題の下から5行目の「組成率」とは何ですか。
事務局	・可燃ごみの中に入っているものの割合です。
關勝委員	・可燃ごみの中にもいろいろなものが混ざって捨てられているようですね。 ・事業所の排水が水田に入り込み、農業に影響を及ぼすことはないのでしょうか。

### 1-4-2. 環境保全・公害防止

石原國彦委員	・隣接企業の排水が農地に入ることがないようにチェックは、農
--------	-------------------------------

	業委員会と議論してやっています。不法投棄に関しては環境課できちんと対応しているようなので、引き続きやって欲しいです。 ・以前は水田にもヌートリアの被害あったと聞いていますが、現在もあるのでしょうか。
事務局	・ヌートリアに関しては通報があるので、被害もあるようです。
關勝委員	・ミドリガメが増えて問題になっていますが、ミドリガメ対策に何か取り組んでいるのですか。
事務局	・現在のところ、ミドリガメ対策は考えていません。
柿原健委員	・公害防止協定の締結の状況はどうですか。違反する企業はないですか。
事務局	・違反は特に聞いていません。

## 第2節 訪れたい人が集まるまちづくり

鈴木恭子委員	・第2章は議論する時間がないので、各自で意見や感想を事務局に提出して欲しいと思います。
--------	---

## ■第3章 時代を担う子どもを豊かに育むまち

### 3-1. 子どもの健康づくり

意見なし

### 3-2. 子育て支援

鈴木恭子委員	・「2. 子育て支援」に関しては、病後児保育の少ないことが問題です。知立駅前の栄クリニックで行っているものの、働いている親は利用したいが少ないから頼めないという意見もあります。
若松勲委員	・子どもを見てくれる施設は知立には足りないのでしょうか。
鈴木恭子委員	・ファミリーサポートセンターもありますが実際はどうなのでしょうか。
事務局	・中央子育て支援センターが来年できます。そんなに大きい施設ではありませんが、障がいを持った子どもも対象としています。 ・知立市の公立保育所は10園であり、知立市の子どもの施設は充実している方だと認識しています。
鈴木恭子委員	・病後児保育の少ないことは課題です。
關勝委員	・西町のサロンでは、子育て中のお母さんと呼んで、お母さんと高齢者との交流を行っています。そういった取組は他にもあるのですか。
事務局	・子育て支援センターでは、高齢者による子育て支援も行ってい

	ます。
柿原健委員	・例えば、子育てサロンをアピタ等の商業施設の一角に設けて、お母さんが自由に利用し、相談できるようにしている事例もあります。これは企業と自治体との子育てに関する連携手法だと思います。知立市でもこのような事をやったらよいと思います。
土田美紀子委員	・「児童の健全育成の充実」において、「子どもの児童センター」とあるがこれは何ですか。
事務局	・「子どもの」という言葉は不要ですので削除します。
鈴木恭子委員	・子どもは健常であっても、親に障がいがあつて、人と違うということに気づき、登校できなくなる子どももいます。親にはヘルパーがつきますが、子どもにサポートはありません。ヘルパーや民生委員、学校もサポートできないという子がいます。このように、いろいろな制度の対象にはなりません、サポートの必要な子どもをどうするかを考えて欲しいです。
土田美紀子委員	・悩みながらも相談に行ける人はまだいいですが、相談に行けない人、相談の方法すら分からない人が問題です。
鈴木恭子委員	・相談を待つというのではなく、情報の提供をし、相談を促す必要があります。地域の役割と言っても、地域はどこまで踏み込んでいいか分からないし難しいです。
本田由美子委員	・外国人の親に関しても、「相談あるか」と聞くと「ない」と答えますが、予防接種を受けていないなどというケースも多いです。相談は待つのではなく聞きに行かないといけないと思います。
石原國彦委員	・自分の地域の範囲では子どもの状況も把握しているつもりですが、児童委員でも対応はなかなか難しいです。おかしいという子どもはいますが、家庭には踏み込めません。おかしいのではと聞きに行っても、そんなことないという人もいます。そのような家庭に対してどの程度接してよいか分かりません。現実には難しいです。
若松勲委員	・家庭の方から尋ねてくれればいいですが、そうではないと難しいです。民生委員はスーパーバイザーのように言われますが限界があります。民生委員の担当は福祉課ですが、子どもは子ども課、高齢者は長寿介護課など、窓口は分かれています。年に1～2回は小中学校の先生から民生委員に子どもの情報はもらえますが、不登校などの情報を知っても家庭に何かするのは難しいです。何かあった時の見守りくらいです。小学校の先生に、親と接してもらおうのが現状です。
關勝委員	・近所に育児放棄の親がいて、民生委員を通じて学校に連絡して、先生に学校に連れて行ってもらいますが、子どももすぐに帰っ

	てしまうようです。何かことがあると見ますが、常時見てられる訳ではありません。地域で声は掛けますが、手を引っ張っていけるわけではありません。
鈴木恭子委員	・すべての子どもが守られているという考えが必要です。広く市民の子どもたちのために、心身の発達に遅れのある子ども、ひとり親の子ども、外国人の子どもというだけでなく、全ての子どもを守るということが必要です。そのためには地域と学校と家庭のネットワーク化が必要です。
柿原健委員	・地域で育む子育て環境づくりということが大切です。
土田美紀子委員	・「2. 子育て支援」の「将来の目指す姿」の文章が長いと思います。
事務局	・文章は確かに長いので、担当と相談して検討します。

### 3-3. 子どもの学び環境・学校教育

土田美紀子委員	・教員も産休や育児休暇が取れる様になっているため、学校側のその対応も大変な様です。教員の加配などもうまく活用しながら、子どもへの対応をきちんと行う必要があります。
石原國彦委員	・先生も最近は忙しくて大変だと聞いています。先生の主な仕事は児童生徒に教育することですが、それ以外に先生から行政に報告するための仕事などに時間を割かれて、本来業務がおろそかになっているのではないのでしょうか。先生はいつも職員室に遅くまでいるようですが。
土田美紀子委員	・先生も忙しくはなっていますが、子どもへの対応は、目の前で起きればすぐに解決しなければいけないので、疎かになることはないと思います。事務的なことや授業の準備などは後回しになってしまうようです。
石原國彦委員	・学校で子どもを教えている時に、難しいことを子どもが質問すると、「塾の先生に聞いて」という先生もいると聞いています。先生も大変なのでしょう。近隣の市に比べると、知立市の児童の学力は低いと聞いています。この対策は何かできないのでしょうか。
關勝委員	・大阪のように子どもを分けて指導することはよくないと思います。少年野球を子どもに教えていますが、礼儀作法、縦のつながりなどを小学校1年生からスポーツを通じて教えるとよい子になるので、そのような方向に仕向けられないかと思います。でも最近は、少年野球に勧誘すると「疲れるから」という子どもも増えています。
石原國彦委員	・「3. 子どもの学び環境・学校教育」については、(1) につい

	ては、この通りやって欲しいです。(2)における学習環境の整備もきちんとやって欲しいです。
本田由美子委員	・「外国人児童生徒数は増える」という表現がありますが、多国籍化している現状もあるので、その言葉も入れて欲しいです。かきつばた教室でも子どもの国がみな違い、英語、ポルトガル語だけでは対応できなくなっています。

#### その他

鈴木恭子委員	・全体として、長い文章、主語が分かりにくい文章があるので、直しておいてほしいです。
--------	---

#### 《全体》

鈴木誠委員長	・ごくろうさまでした。時間になりましたので、事務局から次回に向けた案内をお願いします。
事務局	・ありがとうございました。 ・次回は9月25日の15時から17時を考えています。 ・これまでの意見への対応をお返しさせていただきたいと思えます。 ・今日も意見の追加のシートを配っているので、そのシートに言い足りなかった意見などを書いていただくか、他の様式でも結構ですので、計画書自体に記入いただいてFAX、メール、ご持参等の方法で提出していただきたいと思えます。8月26日、火曜日までをお願いします。議事録に対する意見もお願いします。
鈴木誠委員長	・現状と課題について、データがついていないところもありますので、どのようなデータを掲載したほうが良いかなどご要望もあれば追加していただきたいと思えます。

以上